

01

同梱物を確認しよう

パッケージを開いたら、すべてのものが入っているか確認してください。
不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

同梱物の確認
所要時間: 約 50 分

TD-50KV2

- | | |
|---|---|
| ☐ TD-50X (ドラム音源) × 1 | ☐ 取扱説明書 |
| ☐ PD-140DS (デジタル・スネア) × 1 | ☐ TD-50KV2 セットアップ・ガイド (本書) |
| ☐ CY-18DR (デジタル・ライド) × 1 | ☐ TD-50X クイック・スタート |
| ☐ VH-14D (デジタル・ハイハット) × 1 | ☐ PD-140DS 取扱説明書 |
| ☐ PD-108 (タム 1、2) × 2 | ☐ CY-18DR 取扱説明書 |
| ☐ PD-128 (タム 3、4) × 2 | ☐ VH-14D 取扱説明書 |
| ☐ CY-16R-T (クラッシュ 1、2) × 2 | ☐ PD-128/PD-108 取扱説明書 |
| ☐ MDH-STG2 (パッド・マウント) × 1 | ☐ CY-16R-T 取扱説明書 |

☐ トリガー・ケーブル (タム 4 接続用) × 1

※ TD-50X、PD-140DS、CY-18DR、VH-14D、CY-16R-T の付属品は、それぞれの梱包箱に入っています。

KD-180 (ベース・ドラム)

※ KD-180 の付属品は、「KD-180 取扱説明書」を見ながら確認してください。

MDS-STG2 (ドラム・スタンド)

※ MDS-STG2 の付属品は、「MDS-STG2 取扱説明書」を見ながら確認してください。

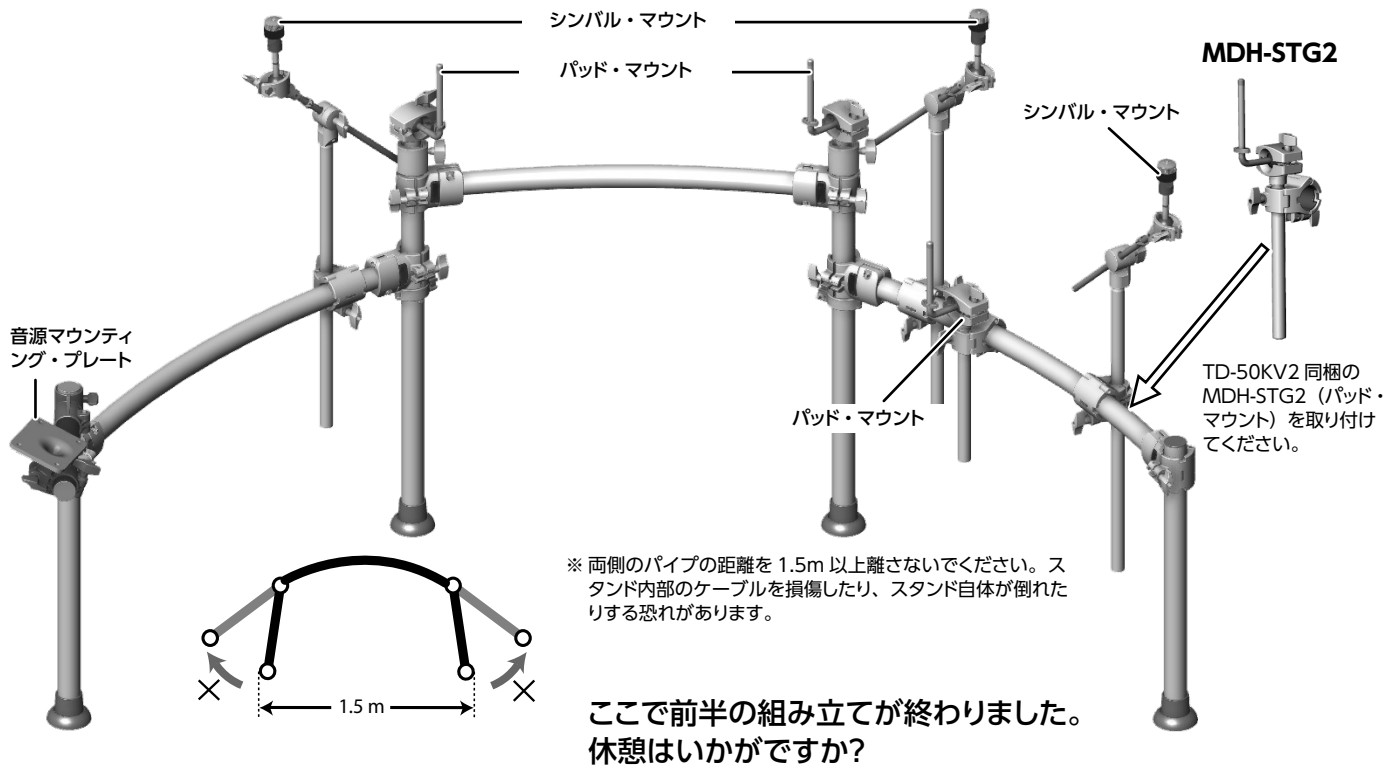
02

ドラム・スタンド (MDS-STG2) を組み立てよう

MDS-STG2 の組み立て
所要時間: 約 40 分

組み立ての手順

「MDS-STG2 取扱説明書」の手順に従って、スタンドを組み立ててください。



05

各パーツを取り付けよう

※ 各パーツについて詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

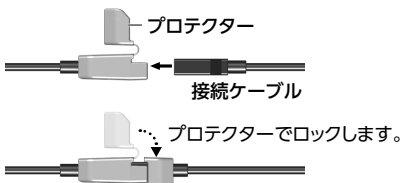
各パーツの取り付け
所要時間: 約 50 分

スタンドへ設置するときの注意

TD-50KV2 セットアップ・ガイドの指示どおりに設置してください。
正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

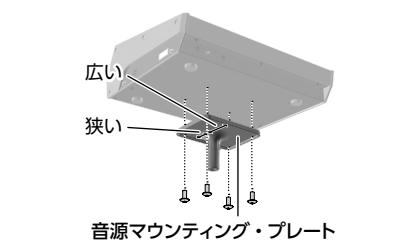
ハイハット (VH-14D) を設置する

VH-14D の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、VH-14D 付属の接続ケーブルのプラグを挿し込みます。



※ 演奏中は常に、図のようにトップ・シンバルとボトム・シンバルのマーク (●) の位置を合わせておいてください。マークがずれると誤動作をすることがあります。

ドラム音源 (TD-50X) を取り付け

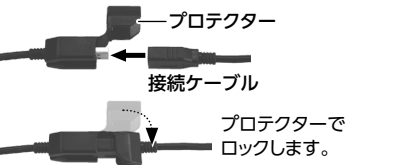


スネア (PD-140DS) をスネア・スタンドに取り付ける

市販のスネア・スタンドに取り付けて使用してください。

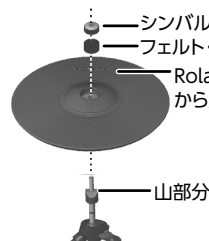
※ 必ず 14 インチのスネアに対応した、スネア・スタンドをお使いください。

PD-140DS の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、PD-140DS 付属の接続ケーブルのプラグを差し込みます。

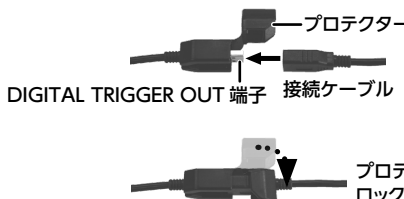


クラッシュ・シンバル (CY-16R-T) とライド・シンバル (CY-18DR) を取り付ける

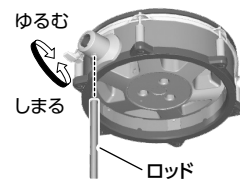
- シンバル・マウントの山部分とシンバル底面の谷部分が合うように載せます。
 - 適度な揺れが得られるように、シンバル・ナットを締めます。
- ※ ドラム・スタンドに付属のシンバル・ナットとフェルト・ワッシャーをお使いください。



ライド・シンバル (CY-18DR) の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、CY-18DR 付属の接続ケーブルのプラグを差し込みます。



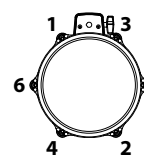
タム (PD-108 / PD-128) を取り付け



ヘッドの張り具合を調節する

適切な打感が得られる張り具合に調節してください。

※ ヘッドをやや強めに張ってください。



- それぞれのチューニング・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結ぶ順に調節します。
- ヘッドの張り具合が均等になるように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

注意

ヘッドの張り具合の調節は、打感の調節をするもので、アコースティック・ドラムのように音の高さ (ピッチ) を調節するものではありません。ピッチは、ドラム音源の音色エディットで調節します。詳しくは、使用するドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

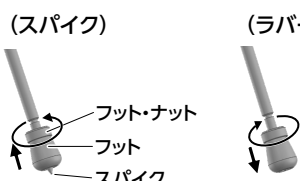
ベース・ドラム (KD-180) を調節する

設置場所に合わせて、レッグの先端 (スパイク/ラバー) を調節します。

スパイク	柔らかい床面 V-Drums マット (TDM シリーズ)、カーペットなど
ラバー	固い床面 フローリング、コンクリートなど

フット・ナットをゆるめ、フットを回して上に動かすと、スパイク部分が出ます。

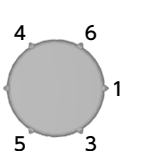
フット・ナットを締めると、フットの位置を固定できます。



※ スパイクの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。

※ フローリングなどの床の上でスパイクを使うと、傷をつける恐れがあります。

ヘッドの張り具合を調節する



KD-180 を演奏する前に、ヘッド (フロント/パター) の張り具合を調節してください。張り具合によって、打感 (演奏感) を変えることができます。

- それぞれのテンション・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結ぶ順に調節します。
※ 1 箇所のテンション・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感が得られなくなるだけでなく、誤動作の原因にもなります。
- ヘッドの張り具合が均等になるように、各テンション・ボルトの締め具合を調整します。

